

【令和5年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理等

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	R5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																							
01	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備 この地域で提供可能な急性期医療を推進するため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、医療機器の計画的な更新・整備を進める。</p> <p>医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。</p> <p>また、これらの医療機器の持つ能力を十分引き出せるような技術の取得及びレベルアップができるような体制を整備する。測定機器の校正など精度管理を徹底する。</p> <p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、薬剤師等医療従事者の確保、定着を図る。</p> <p>ア 医師の勤務条件を緩和するため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂温泉病院勤務医師、岐阜大学医学部附属地 	<p>1 医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額な医療機器については、補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。 ・今年度は、へき地医療拠点病院設備整備費補助金を活用し、老朽化したMRI (磁気共鳴断層撮影装置) を更新し、診療機能の向上を図った。 <p>更新・整備を実施した医療機器の稼働件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>整備 年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡システム(上部)</td> <td>H25</td> <td>1,334</td> <td>1,209</td> <td>1,177</td> </tr> <tr> <td>X-IV 透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>395</td> <td>310</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>H25</td> <td>2,244</td> <td>1706</td> <td>1,741</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>内視鏡システム(下部)</td> <td>H29</td> <td>651</td> <td>519</td> <td>561</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ</td> <td>H30</td> <td>129</td> <td>137</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>全身用X線CT装置</td> <td>R2</td> <td>567</td> <td>647</td> <td>3,476</td> </tr> <tr> <td>回診用X線撮影装置</td> <td>R3</td> <td>204</td> <td>496</td> <td>508</td> </tr> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>R3</td> <td>2</td> <td>64</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>R5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26、27、R1及びR4年度は高額医療機器の整備実績なし ※回診用X線撮影装置のR3年度稼働件数は、R3年9月以降の実績</p>	項目／年度	整備 年度	R3	R4	R5	内視鏡システム(上部)	H25	1,334	1,209	1,177	X-IV 透視診断装置	H25	395	310	289	MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,244	1706	1,741	手術用顕微鏡システム	H28	6	5	4	内視鏡システム(下部)	H29	651	519	561	ガンマカメラ	H30	129	137	170	全身用X線CT装置	R2	567	647	3,476	回診用X線撮影装置	R3	204	496	508	血管撮影装置	R3	2	64	54	MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	0	III		人材確保に今後も努めていただきたい。
項目／年度	整備 年度	R3	R4	R5																																																								
内視鏡システム(上部)	H25	1,334	1,209	1,177																																																								
X-IV 透視診断装置	H25	395	310	289																																																								
MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	2,244	1706	1,741																																																								
手術用顕微鏡システム	H28	6	5	4																																																								
内視鏡システム(下部)	H29	651	519	561																																																								
ガンマカメラ	H30	129	137	170																																																								
全身用X線CT装置	R2	567	647	3,476																																																								
回診用X線撮影装置	R3	204	496	508																																																								
血管撮影装置	R3	2	64	54																																																								
MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	R5	—	—	0																																																								

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見						
	<p>域医療医学センター医師等が地域の教育研究を 実践する場として設置している地域医療研究研 修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供 に寄与すると認められる者の定年延長及び再雇 用 ・医師募集エージェントへの登録及びエントリ ーによる面接 ・医療ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる非常 勤医師の確保及び診療体制維持 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作 業補助者の適正な配置 ・地元出身者や地元関係者への働きかけ <p>イ 看護師負担の軽減のため、パートナーシップ・ ナーシング・システム (PNS) の定着、プラチ ナナースの活用及び看護補助者の適正配置など 適切な支援体制の充実を図る。また、看護体制維 持に必要な看護師数の確保を図るため、ワーク ・ライフ・バランス (WLB) の推進、再就職支援 者研修及び職場体験実習などに取り組む。</p> <p>ウ 薬剤師確保の取組として、次の事項を実施す る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部のある大学教員や薬学生との交流や行 事などへの参加の推進 ・地元出身者及び地元関係者への働きかけ ・病院ホームページや地域情報誌などを通じた 情報発信 ・薬剤業務補助者の活用による薬剤師の負担軽 減及び病棟業務やチーム医療への業務展開の維 持・推進 	<p>※血管造影装置のR3年度稼働件数は、R4年3月のみの実績 ※MRI (R5年度整備) はR6年4月からの稼働のため、R5年度は実績なし</p> <p>2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保</p> <p>○ 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き臨床研修医2人を確保することができた。 ・乳腺外科医師1人を確保することができた。 ・内科、小児科で、各1人を確保することができた。 ・医師募集エージェントへの登録 (インターネット等の活用) は、前年度に 引き続き、募集情報を登録。(9社) ・常勤医不在の診療科 (脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科) 及び常勤 医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等か らの支援医師 (非常勤) により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに 対応した医療の推進を図った。 <p>診療依頼延べ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,452</td> <td>1,497</td> <td>1,548</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において、ワークライフバランス (WLB) 推進を継続した。年休 の取得推進を図ったが、中途退職者の増、及び休業・退職者の増による職 員数の減少が影響し、全看護職員の今年度の年休取得数は平均7.9日にと どまり、前年度 (平均9.4日) を下回った。 ・看護の質の向上と時間外勤務の短縮を目的に、「PNS (パートナース ィップ・ナーシング・システム)」看護体制を引き続き実施した。PNSが適 切に機能しているかの観点から監査を実施し、PNSの定着を確認した。 ・PNS看護体制の補完として、院内の部署間で相互に支援する取組みを進 め、職員数の減少を補った。また、プラチナナースを各自の経験を活かす ことのできる部署に配置した。 ・WLB推進事業委員会を中心に「育児懇談会」を開催し、育児休業明けの 看護師の不安軽減を図った。 ・法人化のメリットである弾力的な職員採用体制で、看護体制の維持に必要 な看護師・看護補助者等の確保を継続した。 	R3	R4	R5	1,452	1,497	1,548			
R3	R4	R5									
1,452	1,497	1,548									

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																												
	<p>・薬剤師募集エージェントへの登録、薬剤師会等が企画する就職フェアへの参加。</p> <p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実 インシデント・アクシデントに関する情報収集及び的確な原因分析に基づく改善策を立案し、必要な情報を関連部署に迅速に提供する。 改善策の遵守状況の確認や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止を図る。医療安全における医療機関の連携により、自施設の医療安全管理体制の評価、医療安全の均てん化、地域の医療安全推進を図る。 全職員が患者の安全を最優先して万全な対応が行えるように、医療の専門的知識や安全確保に必要な技術、責務と倫理、コミュニケーション能力の向上など、安全管理に関する研修を行う。 ・全職員対象医療安全研修(年2回)、新人教育、薬剤学習会、医療放射線安全管理研修、医療機器学習会、検査学習会、医療ガス安全講習会</p> <p>10 院内感染防止対策の充実 感染対策チーム(ICT)及び抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の活動を充実させ、医療関連感染と職業感染の低減を図るため、以下の取組を実施する。 ・職員への啓発と体制整備による手指衛生行動の向上 ・職員教育と対策実施状況の点検による標準予防策と感染経路別予防策の強化 ・針刺し等血液曝露予防の啓発と、職員ワクチン接種プログラムによる職業感染防止の推進</p>	<p>・再就職支援者研修を2回計画したが、応募者がなかったため実施しなかった。</p> <p>看護師等に係る採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保 ・より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員(2人)が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。(●)</p> <p>コメディカル(常勤)採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	項目/年度		R3	R4	R5	常勤	看護師	5	5	2	助産師	0	0	0	保健師	0	0	1	非常勤	(専門業務) 看護師	4	1	0	(業務補助) 看護師	0	0	0	(専門業務) 看護補助者	0	1	0		(業務補助) 看護補助者	0	0	0	項目/年度	R3	R4	R5	薬剤師	0	0	0	臨床検査技師	0	0	0	臨床工学技士	0	0	0	診療放射線技師	0	0	1	理学療法士	0	2	2	作業療法士	0	1	0	言語聴覚士	0	0	0	管理栄養士	0	0	0	社会福祉士	1	0	1			
項目/年度		R3	R4	R5																																																																													
常勤	看護師	5	5	2																																																																													
	助産師	0	0	0																																																																													
	保健師	0	0	1																																																																													
非常勤	(専門業務) 看護師	4	1	0																																																																													
	(業務補助) 看護師	0	0	0																																																																													
	(専門業務) 看護補助者	0	1	0																																																																													
	(業務補助) 看護補助者	0	0	0																																																																													
項目/年度	R3	R4	R5																																																																														
薬剤師	0	0	0																																																																														
臨床検査技師	0	0	0																																																																														
臨床工学技士	0	0	0																																																																														
診療放射線技師	0	0	1																																																																														
理学療法士	0	2	2																																																																														
作業療法士	0	1	0																																																																														
言語聴覚士	0	0	0																																																																														
管理栄養士	0	0	0																																																																														
社会福祉士	1	0	1																																																																														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																								
	<ul style="list-style-type: none"> ・抗菌薬適正使用支援チーム（AST）活動による抗菌薬適正使用の推進 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報発信 ・新型コロナウイルス感染症患者対応策（入院・外来）の立案、見直し ・全出入口へ検温器及び手指消毒剤設置による感染防止の継続 ・職員に対する体調管理の継続、新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避の啓発 <p>また、アウトブレイクや重大な院内感染事例が発生した場合には、状況把握と疫学調査により対応し、感染拡大・再発防止策を講じるとともに、県民への適正な情報提供に努める。</p> <p>1 1 岐阜県病院協会医学会の開催 令和5年度に当院において岐阜県病院協会医学会を開催し、各病院における様々な取組等について医療従事者への情報共有を図る。</p>	<p>医師事務作業補助者採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況を含む。</p> <p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント報告様式（MyWeb）を利用し、毎月ののまとめと、インシデントレベル3a及び3b以上（事故報告書）について各会議にて分析・検討し、対策立案を行った。また、分析結果及び改善方針について、「医療安全対策室たより」を18回発行し、情報の共有化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全対策地域連携加算1の算定に伴い、平成30年度から病院内で連携し、相互チェックを行っている。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため、病院訪問でのチェックは中止した。1月に自己評価を行い、2月19日開催のWeb会議で確認した。 ・今年度のアクシデントは8件で、前年度と比較して入院延べ人数に対する発生率は低下した。 ・アクシデント事例はすべてRCA分析を実施、事例の発生要因を共有した。インシデント報告は集計・分析し、転倒の発生しやすい状況についての情報提供や、センサーベッドの使用法の研修、センサー入れ忘れ対策の実施状況の確認などを行った。結果は「医療安全対策室たより」にて報告し、啓蒙した。 <p>インシデント・アクシデント件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,313</td> <td>1,229</td> <td>1223</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,321</td> <td>1,238</td> <td>1231</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内掲示板「MyWeb」やeラーニングを活用した全職員研修を行った。 ・医療安全推進大会では、各部署の業務改善を作成し、院内掲示板「MyWeb」を活用し、全職員が閲覧できる方法で行った。各部署の取組がよく 	項目/年度	R3	R4	R5	(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	0	項目/年度	R3	R4	R5	インシデント	1,313	1,229	1223	アクシデント	8	9	8	計	1,321	1,238	1231			
項目/年度	R3	R4	R5																										
(専門業務) 医師事務作業補助者	1	1	0																										
項目/年度	R3	R4	R5																										
インシデント	1,313	1,229	1223																										
アクシデント	8	9	8																										
計	1,321	1,238	1231																										

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																																			
		<p>分かるといった意見が多くあり、インシデントや改善策を周知する良い機会となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目/年度</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2</td> <td>820</td> <td>2</td> <td>758</td> <td>2</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>7</td> <td>53</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>559</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>1</td> <td>29</td> <td>5</td> <td>47</td> <td>2</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>9</td> <td>99</td> <td>10</td> <td>64</td> <td>8</td> <td>74</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全室個室と病棟構造を活かしたゾーニングを設定し、岐阜県のフェーズ設定に応じて新型コロナウイルス感染症患者受入専用病棟を設置（最大62床、5類感染症移行後は最大20床）し、患者の受入れを行った。 新型コロナウイルス感染症患者受入実績 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始（R2年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症クラスターの院内発生に対して、原因を状況判断し、感染拡大防止策を講じた。 ・ 院内感染防止マニュアルの改訂及び減染管理教育を行った。 <p>【改訂マニュアル】 COVID-19 感染対策マニュアル、感染症法に基づく医師の届出マニュアル、標準予防策と感染経路別予防策マニュアル、感染対策チェック表疾患追加、使用後器具の処理マニュアル 感染管理教育の実施状況</p>	項目/年度	R3		R4		R5		回数	人数	回数	人数	回数	人数	医療安全全職員研修会	2	820	2	758	2	776	医療機器学習会	7	53	2	14	-	-	薬剤学習会	1	16	1	16	1	316	検査学習会	-	-	-	-	2	559	臨時研修会	1	29	5	47	2	44	新人研修	9	99	10	64	8	74	項目/年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760			
項目/年度	R3			R4		R5																																																																		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																		
医療安全全職員研修会	2	820	2	758	2	776																																																																		
医療機器学習会	7	53	2	14	-	-																																																																		
薬剤学習会	1	16	1	16	1	316																																																																		
検査学習会	-	-	-	-	2	559																																																																		
臨時研修会	1	29	5	47	2	44																																																																		
新人研修	9	99	10	64	8	74																																																																		
項目/年度	R3	R4	R5																																																																					
受入患者数	226	338	134																																																																					
累計患者数	288	626	760																																																																					

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																								
		11 岐阜県病院協会医学会の開催 ・岐阜県病院協会会員病院の医療従事者等が一堂に会する「岐阜県病院協会医学会」を10月29日に下呂交流会館（下呂市森）で開催、県内病院から計859人が参加した。特別講演を行うとともに、計229演題の発表により活発な情報交換と交流を深めることができた。 【特別講演】 —2040年の医療提供体制に向けて— 「岐阜県の地域医療構想のCOVID-19前後での検証」 「多死社会を迎え今後の緩和医療、ACPを考える」																											
02	1 待ち時間の改善等 診療時間の弾力化、緊急対応時の表示、アンケート調査等により待ち時間が快適となるよう取り組むとともに、定期的なラウンドを行い、患者の状態把握・異常時の早期対応に努める。また、医療費の支払いについて、クレジットカード払いを導入する。さらに、要望に対して迅速に対応する。 2 院内環境の快適性の向上 全室個室化など施設の利便性を活用し、プライバシーとアメニティに配慮した快適な入院環境づくりに取り組む。入院時セットの見直しを行い、患者・家族の負担を軽減する。 病院給食については、治療効果を高める栄養管理の向上のため、医療従事者が連携し、患者の症状や病態に応じた食事の提供など食事の個別対応をより一層推進する。 さらに、季節毎の展示物を行い、患者に安らぎを提供するほか、行事食の充実を図る。 3 医療に関する相談体制の充実 要望・意見等へ迅速な対応ができる組織体制を	1 待ち時間の改善等 ○ 待ち時間対策 ・常に看護師が患者の様子を気にかかけ、声かけを行っている。 ・緊急患者のため診療時間が遅れそうなときは必ず声かけを行い、患者の不安軽減に努めている。 ・診察の遅れについては、診察の進行状況に係る情報を提供している。 ・看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と、患者への積極的な声かけを推進。 ・椅子の配置を検討し、プライバシーが保たれることのできる空間づくりに努めている。 ・小児科外来における図書コーナーは、新型コロナウイルス感染症対策のため撤去している。今後、感染症対策を踏まえ、再開時期を検討する。 ・初診の混雑時は一旦病院外へ出てよいことを説明するなど、待ち時間の過ごし方を検討。 ○ 外来診療待ち時間調査 ・令和2年度から患者アンケートの中で待ち時間調査を実施し、継続して対策に取り組んでいる。 ①「本日の各ブロック受付後、診察までの待ち時間は何分程度だったか」 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～30分</td> <td>17</td> <td>40%</td> <td>214</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>12</td> <td>29%</td> <td>132</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>8</td> <td>19%</td> <td>26</td> <td>6%</td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	R4		R5		人数	割合	人数	割合	1～30分	17	40%	214	53%	31～60分	12	29%	132	33%	61分以上	8	19%	26	6%	IV		
待ち時間	R4			R5																									
	人数	割合	人数	割合																									
1～30分	17	40%	214	53%																									
31～60分	12	29%	132	33%																									
61分以上	8	19%	26	6%																									

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価					評価委員会の検証																										
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 					自己 評価	評価 提案	意見																								
	充実するほか、検査や薬の相談にも対応する。	無回答	5	12%	31	8%																											
		②「待ち時間について職員から声かけがあったか」 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">声かけ</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あった</td> <td>32</td> <td>76%</td> <td>248</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>なかった</td> <td>5</td> <td>12%</td> <td>86</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5</td> <td>12%</td> <td>68</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>					声かけ	R4		R5		人数	割合	人数	割合	あった	32	76%	248	62%	なかった	5	12%	86	21%	無回答	5	12%	68	17%			
声かけ	R4		R5																														
	人数	割合	人数	割合																													
あった	32	76%	248	62%																													
なかった	5	12%	86	21%																													
無回答	5	12%	68	17%																													
		※待ち時間が1時間を超えたとの回答が6%、職員の声掛けがなかったという回答が21%という結果であり、継続して対策を検討するとともに声かけを実施していく。																															
		2 院内環境の快適性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・患者サービス向上委員会では、ご意見箱に投函された意見等を院内の掲示板でフィードバックしている。今年度は、以前より要望のあった患者向け無料Wi-Fiを構築し、サービス向上を図った。そのほか、院内環境改善について要望等を検討し、改善に努めた。 ・患者サービス向上委員会が主体となり、院内及び病院周辺の清掃を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 【1回目】 6月7日 17:00～17:30 参加人数86人 【2回目】 9月13日 16:30～17:20 参加人数74人 (病院職員63人、ライオンズクラブ11人) ・院内ラウンドを4回実施し、院内環境のチェックを行った。 <ul style="list-style-type: none"> 【主な改善事項】 掲示物の点検、物品の整理整頓、ゴミ拾い、危険物の撤去等 ・正面玄関に季節の飾り物を設置し、癒しの空間作りに努めた。(端午の節句、七夕、月見、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、桃の節句) ・個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者へ食事内容についての理解を促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事を提供した。 																															
		栄養管理計画書作成件数・個別指導件数 単位：件																															

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	評価 提案	意見																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">計画書作成件数</td> <td>938</td> <td>897</td> <td>1,041</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別 指導</td> <td>入院</td> <td>172</td> <td>194</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>205</td> <td>111</td> <td>222</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度		R3	R4	R5	計画書作成件数		938	897	1,041	個別 指導	入院	172	194	145	外来	205	111	222																							
項目/年度		R3	R4	R5																																								
計画書作成件数		938	897	1,041																																								
個別 指導	入院	172	194	145																																								
	外来	205	111	222																																								
		<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療相談室について、医療相談カンファレンスを毎週開催し、職員間で情報の共有を図るとともに、月1回医療相談室会議を開催し、兼務職員を含めた全員での情報共有を行った。 ・医療安全対策部門や患者サービス向上部門とも連携し、患者やその家族からの医療等に関する相談・苦情や入院にかかる相談業務に対応した。 ・問題事象への発展が懸念されるものは、情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。 ・相談等については、面談中のプライバシーを尊重するなど、個人情報の取り扱いに十分注意し、患者が安心して相談できるよう努めた。 																																										
04	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <p>近隣の医療機関との連携を強化することで、紹介率(40%以上)、逆紹介率(50%以上)の維持・向上を図る。</p> <p>岐阜県地域医療構想の推進を図るため、下呂市立金山病院との役割分担の明確化と連携を強化し、効率的で質の高い医療体制を確保する。</p> <p>地域の医療機関による医療機器の共同利用や開放型病床の利用拡大に努めるなど、病病・病診連携を推進する。</p> <p>下呂市医師会の会員として、当院で理事会を開催するなど引き続き協力体制を維持するなど連携を図る。</p> <p>また、下呂市及び下呂市医師会と連携・協力して新型コロナウイルスワクチン接種等の感染対</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所(かかりつけ医)と当院の役割分担(病診連携)に努めた。 <p>紹介率・逆紹介の状況 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">医 科</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>37.3</td> <td>35.2</td> <td>38.1</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,215</td> <td>2,206</td> <td>2,163</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>63.9</td> <td>40.2</td> <td>60.3</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>4,603</td> <td>3,330</td> <td>3,891</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">歯 科</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>43.0</td> <td>42.6</td> <td>54.3</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>321</td> <td>290</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>26.1</td> <td>21.4</td> <td>32.5</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>195</td> <td>146</td> <td>203</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度		R3	R4	R5	医 科	紹介率 (%)	37.3	35.2	38.1	紹介実施件数	2,215	2,206	2,163	逆紹介率 (%)	63.9	40.2	60.3	逆紹介実施件数	4,603	3,330	3,891	歯 科	紹介率 (%)	43.0	42.6	54.3	紹介実施件数	321	290	338	逆紹介率 (%)	26.1	21.4	32.5	逆紹介実施件数	195	146	203	III		<p>同市内に、設立母体が同一ではないものの、公立病院が存在するため、役割分担を明確化すべき。同じような診療を行う診療科を両方で持つことのメリットはあまりない。紹介率が伸びていない。逆紹介率も100%には遠い。</p>
項目/年度		R3	R4	R5																																								
医 科	紹介率 (%)	37.3	35.2	38.1																																								
	紹介実施件数	2,215	2,206	2,163																																								
	逆紹介率 (%)	63.9	40.2	60.3																																								
	逆紹介実施件数	4,603	3,330	3,891																																								
歯 科	紹介率 (%)	43.0	42.6	54.3																																								
	紹介実施件数	321	290	338																																								
	逆紹介率 (%)	26.1	21.4	32.5																																								
	逆紹介実施件数	195	146	203																																								

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見												
	策に対応する。 消防署との情報交換会、ぎふ救急ネットの活用等により地域の救急医療の充実強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・下呂市立金山病院からの手術依頼を受けて、医師を派遣するなどの連携体制を整えているが、今度は実績がなかった。 【外科医】 外来診療 (派遣回数 0 回) 【整形外科医】 手術 (派遣回数 0 回) ○ 新型コロナウイルス感染症診療に関する訪問指導 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策向上加算算定連携施設である下呂市立金山病院に対して、訪問指導を 4 回行った。 (7月4日、9月5日、11月7日、2月6日) ・下呂市立小坂診療所に対して、訪問指導を 1 回行った。 (11月29日) 															
05	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として軽症・中等症患者の受け入れのための専用病床を確保し、患者を受け入れるとともに、以下のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査体制の充実 (発熱外来・総合健診センターにおける自主検査) ・相談体制の充実 ・下呂市及び下呂市医師会等との連携・協力による新型コロナウイルスワクチン接種への協力 ・地元企業等の要請に基づく新型コロナウイルスワクチン接種 (職域接種) への協力 ・院内感染の防止の徹底 (ゾーニングの徹底、職員の感染対策) <p>2 へき地医療の拠点的功能の充実 地域医療研究研修センターの充実及び診療所への医療支援を行う。 また、ドクターヘリの活用等により、高度医療機関との連携強化を図る。</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として軽症・中等症患者の受け入れのための専用病床を確保 (最大 62 床、5 類感染症移行後は最大 20 床) し、新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた。 <p>新型コロナウイルス感染症患者受入実績【No.1 再掲】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始 (R2 年度) 以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来を開設し、PCR 検査を 475 件、抗原検査を 2,481 件実施した。 ・下呂市と協力し、住民に対するワクチン接種を毎週火曜日 (小児科) 及び金曜日 (内科) に実施した。 (12 歳以上のべ 351 人、12 歳未満のべ 41 人) ・院内での集団ワクチン接種を 80 人に実施した。 <p>2 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 ・前年度に引き続き、下呂市が実施する産婦支援事業 (産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業) に協力した。また、下呂市から引き続き乳幼児 	項目/年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760	IV		「生活の場の医療」の取り組みはよい結果が出せている。 へき地医療の拠点としてこれまで以上に機能を充実していただきたい。
項目/年度	R3	R4	R5														
受入患者数	226	338	134														
累計患者数	288	626	760														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																												
	<p>3 リハビリテーションの推進</p> <p>地域リハビリテーションの基幹的な病院として、地域リハビリテーションの普及促進及び人材育成の役目を継承しつつ、地域包括ケアシステムを推進する。急性期・回復期・維持期の各段階において、切れ目なく、連続した幅広いリハビリテーションが適切に提供できるよう、特に次の事項に重点的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期から回復期にかけて一貫した多職種連携による最適なリハビリテーション医療の提供及び在宅復帰支援 ・多職種連携によるケア会議の充実及び地域包括支援センターや地域の介護・福祉施設への患者情報の提供体制の確立 ・リウマチ患者に対する生活指導、相談等を行う教育入院の実施 ・退院前訪問指導の強化と退院後の生活を見据えた質の高い住宅環境整備指導の実施 ・手外科のリハビリテーション、ボトックス治療後のリハビリテーション及びがん患者の緩和リハビリテーションの充実 ・高齢の新型コロナウイルス感染症患者の入院期間中における廃用予防への支援 ・専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの充実 ・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用した摂食機能療法の充実 ・心臓リハビリテーションの提供体制の確立と実施 <p>4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <p>「生活の場の医療」の提供として、この地域で提供可能な急性期医療を推進するとともに、在宅復帰支援病棟（地域包括ケア病棟・回復期リハビ</p>	<p>健診業務を受託するなど、地域連携による周産期から、乳幼児期の支援体制づくりに寄与した。</p> <p>○ 乳幼児健診等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診 13回、102人 ・1歳6か月健診及び歯科健診は、新型コロナウイルス感染症の予防対策により、別会場での実施となったため、当院での実施は中止している。 <p>3 リハビリテーションの推進</p> <p>○ リハビリテーションの実施状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>27,878</td> <td>26,754</td> <td>31,193</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>93,242 単位</td> <td>84,820 単位</td> <td>83,694 単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期離床の推進、及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たった。今年度はリハビリ退院前後の訪問指導を35件行った。 <p>認定資格等取得者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 計26人 ・認知症ケア専門士2人 ・終末期ケア専門士1人 ・認定褥瘡理学療法士1人 ・岐阜県糖尿病療養指導士1人 ※各年度末累計</p> <p>○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施</p> <p>リハビリテーション患者実数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>22</td> <td>35</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	実人数	27,878	26,754	31,193	疾患別リハ実施数	93,242 単位	84,820 単位	83,694 単位	項目／年度	R3	R4	R5	呼吸認定療法士	4	4	4	早期離床アドバイザー	1	1	0	福祉住環境コーディネーター	19	20	18	項目／年度	R3	R4	R5	小児リハビリ	67	67	64	手外科リハビリ	22	35	57	心臓リハビリ	—	—	21			
項目／年度	R3	R4	R5																																														
実人数	27,878	26,754	31,193																																														
疾患別リハ実施数	93,242 単位	84,820 単位	83,694 単位																																														
項目／年度	R3	R4	R5																																														
呼吸認定療法士	4	4	4																																														
早期離床アドバイザー	1	1	0																																														
福祉住環境コーディネーター	19	20	18																																														
項目／年度	R3	R4	R5																																														
小児リハビリ	67	67	64																																														
手外科リハビリ	22	35	57																																														
心臓リハビリ	—	—	21																																														

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																			
	<p>リテーション病棟) を有効活用することにより、在宅復帰支援の充実を強化し、医療依存度の高い在宅療養患者を在宅患者支援病床として在宅医とともに支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携室の充実、在宅復帰及び在宅療養の支援に向けた関係機関との連携強化 ・終末期医療体制の充実及び介護老人保健施設等との連携による看取りの推進 ・認定看護師など専門性の高い能力を活用した在宅療養支援の充実 ・緩和部会を中心とした、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の理解の深化 ・緩和外来の実施 ・訪問看護ステーションや施設との連携による在宅療養患者への支援 ・ストーマ外来や褥瘡外来における患者への生活指導の実施 ・排尿自立支援チームによる病棟ラウンドの実施など在宅療養へのスムーズな移行への支援 ・オスメイト (ストーマ保有者) 患者会との連携や勉強会の実施など在宅サポートの充実 ・摂食嚥下支援として摂食機能評価や機能療法の充実及び地域との連携 ・認定看護師から最新情報をホームページへ掲載、地域からの相談の積極的な受入れなど在宅療養支援の充実 <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進 総合健診センターについて新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防対策に万全を期すことを前提としながら、次のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から稼働する新健診システムの適切な運用 ・下呂市及び岐阜県などと連携したがん検診の 	<p>4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度における在宅復帰率は、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟においては、施設基準に定める7割以上を達成した。 <p>病棟別在宅復帰率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病棟</th> <th rowspan="2">回復期ハ ビリテーシ ョン 病棟</th> <th colspan="3">地域包括ケア病棟</th> </tr> <tr> <th>東3階</th> <th>東4階</th> <th>西4階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復帰率</td> <td>92.5</td> <td>88.5</td> <td>87.9</td> <td>84.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東4階はR5年8月に療養病棟に移行したため、令和5年7月までの実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携運営部会を設置し、地域包括ケア病棟の運用、看取りに関すること、地域連携に関することについて協議している。今年度は部会を12回開催した。 ・施設における看取り支援については、現在は2施設と連携している。今年度の看取り希望者は20人、看取り対象者は15人であった。 ○ 地域連携室による地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が緩和され、前年度と比較し、退院調整業務件数が増加した。 <p>退院調整業務件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,540</td> <td>12,109</td> <td>12,519</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性である独居や高齢者世帯の増加、認知症患者の増加等により施設入所を希望される患者・家族が増加してきている。また、転院相談の増加に伴い転院の入院件数 (調整) も増加している。このような現状を踏まえながら、地域連携室の機能を強化し、在宅復帰、在宅療養への支援を引き続き行 	病棟	回復期ハ ビリテーシ ョン 病棟	地域包括ケア病棟			東3階	東4階	西4階	復帰率	92.5	88.5	87.9	84.5	R3	R4	R5	9,540	12,109	12,519			
病棟	回復期ハ ビリテーシ ョン 病棟	地域包括ケア病棟																						
		東3階	東4階	西4階																				
復帰率	92.5	88.5	87.9	84.5																				
R3	R4	R5																						
9,540	12,109	12,519																						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
	<p>精度管理の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合健診センターが用意している健診コース等が広く利用されるためのPR ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・健診受診後の特定保健指導（web方式を含む）等での働きかけや精密検査の受診勧奨などのきめ細かい事後対応 <p>また、認知症の早期診断方法の普及を図るとともに、地域と連携し、リハビリテーションを組み合わせた認知症予防対策を推進する。</p>	<p>っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の理解の深化 <ul style="list-style-type: none"> ・緩和部会では、ACPについて部内学習会を開催し、リビングウィル、DNAR、ACPについての理解を深めた。ACPの記録形式や書式作りを引き続き行っていく。 ○ 認定看護師など専門性の高い能力を活用した在宅療養支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア外来件数 院内1件、院外紹介9件 ・ストーマ外来受診患者数 延べ152人 ・褥瘡外来受診患者数 延べ202人 ・排尿自立介入患者 患者数9人、ラウンド回数16件、算定件数16件、 退院後外来フォロー2人（22.2%） ・摂食機能療法算定 135人、3,017件 ・摂食嚥下支援カンファレンス 3人、19件 ・摂食嚥下評価入院受入 0件 ○ 訪問看護ステーションや施設との連携による在宅療養患者への支援 <p>【緩和ケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師とは介入患者への支援を通じ、電話、メール、ケア会議等で連携している。 令和5年度連携：15件 <p>【ストーマ・創傷（褥瘡）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーマ 令和5年度連携：54件 ・創傷（褥瘡） 令和5年度連携：38件 ・オストメイト（ストーマ保有者）患者会との連携・勉強会について、施設入所や患者の死亡により対象者がいなくなったため、令和2年度以降は実施していない。 			

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																
		<p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、開始時期は例年どおり4月第2週目からとして、健診業務を進めた。 ・検査の内容については、前年度に引き続き、人間ドック等に係る肺機能検査の実施を見合わせていたが、協会けんぽ（全国健康保険協会）については、10月から実施を再開した。 ・受診者数については、1日ドックや企業健診等は増加したが、下呂市のがん検診等の減少により、全体として受診者数は0.2%程度減少した。 ・下呂市の健診については、平成26年度以降、当院で旧下呂町（6地区）の住民健診を実施し、平成28年度からは乳がん、前立腺がん検診を受託するなど、健康診断受診率の向上と予防医療の推進を図っている。今年度のがん検診の受診件数については3,205件と、前年度（2,822件）と比較して増加した。 <p style="text-align: center;">総合健診センター受診者数 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,252</td> <td>1,259</td> <td>1,432</td> </tr> <tr> <td>1日+MR I</td> <td>43</td> <td>46</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>2,051</td> <td>2,095</td> <td>2,087</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,957</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>定期健診（下呂温泉病院、下呂看護専門学校）</td> <td>720</td> <td>634</td> <td>673</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>その他（企業健診他）</td> <td>774</td> <td>703</td> <td>809</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,384</td> <td>7,232</td> <td>7,215</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">健康診断収益の推移 単位：千円（税抜）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益金額</td> <td>104,990</td> <td>102,499</td> <td>110,761</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導について、当日の初回面談をスムーズに行うため、前日の情報収集により対象者を予測し、採血結果を優先的に出すとともに、指導の必要 	項目／年度	R3	R4	R5	1日ドック	1,252	1,259	1,432	1日+MR I	43	46	37	生活習慣病予防健診	2,051	2,095	2,087	下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556	下呂市特定・すこやか健診	542	529	573	定期健診（下呂温泉病院、下呂看護専門学校）	720	634	673	下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48	その他（企業健診他）	774	703	809	合計	7,384	7,232	7,215	項目／年度	R3	R4	R5	収益金額	104,990	102,499	110,761			
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
1日ドック	1,252	1,259	1,432																																																		
1日+MR I	43	46	37																																																		
生活習慣病予防健診	2,051	2,095	2,087																																																		
下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556																																																		
下呂市特定・すこやか健診	542	529	573																																																		
定期健診（下呂温泉病院、下呂看護専門学校）	720	634	673																																																		
下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48																																																		
その他（企業健診他）	774	703	809																																																		
合計	7,384	7,232	7,215																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
収益金額	104,990	102,499	110,761																																																		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																
		<p>性の説明を強化した結果、前年度と比較して、全体の実施件数・収益ともに大幅に上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険者別の特定保健指導実施率は、県警察職員を除き、前年度と比較して上昇している。教職員については、オンラインによる遠隔指導の実施により堅調に推移しており、協会けんぽ（全国健康保険協会）については、初回面談を積極的に行ったことで、2年連続で実施率が大幅に上昇した。 <p>特定保健指導実績 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>138</td> <td>153</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>2,482</td> <td>2,803</td> <td>3,927</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p> <p>特定保健指導実施率 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県職員</td> <td>100</td> <td>90.9</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>県警察職員</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>77.8</td> <td>79.3</td> <td>81.8</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>35.0</td> <td>45.9</td> <td>68.8</td> </tr> <tr> <td>市町村職員</td> <td>75.0</td> <td>68.8</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から、協会けんぽ（全国健康保険協会）岐阜支部の「健診実施機関による未治療者への受診勧奨業務」の受託を開始した。この事業は生活習慣病予防健診において、血圧・血糖・脂質検査の結果、要治療と判定されながら、医療機関を受診していない未治療者に対して医療機関への受診を勧奨し、生活習慣病の重症化を防止することなどを目的とするものであり、健診センターとしても積極的に取り組んでいる。今回は勧奨件数、収益金額ともに前年度を大きく上回った。 <p>未治療者に対する受診勧奨 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨件数</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>58</td> <td>80</td> <td>135</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p>	項目／年度	R3	R4	R5	実数	138	153	221	収益金額	2,482	2,803	3,927	項目／年度	R3	R4	R5	県職員	100	90.9	93.3	県警察職員	100	100	83.3	教職員	77.8	79.3	81.8	協会けんぽ	35.0	45.9	68.8	市町村職員	75.0	68.8	85.0	項目／年度	R3	R4	R5	受診勧奨件数	35	36	61	収益金額	58	80	135			
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
実数	138	153	221																																																		
収益金額	2,482	2,803	3,927																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
県職員	100	90.9	93.3																																																		
県警察職員	100	100	83.3																																																		
教職員	77.8	79.3	81.8																																																		
協会けんぽ	35.0	45.9	68.8																																																		
市町村職員	75.0	68.8	85.0																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
受診勧奨件数	35	36	61																																																		
収益金額	58	80	135																																																		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																																
		検査別受診者数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MR I</td> <td>111</td> <td>94</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>胸部C T</td> <td>107</td> <td>96</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>腹部C T</td> <td>107</td> <td>102</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全身MR I・C T</td> <td>39</td> <td>22</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>大腸C T</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>もの忘れドック</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>374</td> <td>317</td> <td>311</td> </tr> </tbody> </table> ○ 下呂市歯科健診・検診受診者数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぎふ・さわやか口腔健診</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科検診</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R3	R4	R5	脳MR I	111	94	119	胸部C T	107	96	86	腹部C T	107	102	84	全身MR I・C T	39	22	19	大腸C T	0	0	1	もの忘れドック	10	3	2	計	374	317	311	項目／年度	R3	R4	R5	ぎふ・さわやか口腔健診	1	10	11	歯周疾患検診	2	5	2	妊婦歯科検診	4	0	5			
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
脳MR I	111	94	119																																																		
胸部C T	107	96	86																																																		
腹部C T	107	102	84																																																		
全身MR I・C T	39	22	19																																																		
大腸C T	0	0	1																																																		
もの忘れドック	10	3	2																																																		
計	374	317	311																																																		
項目／年度	R3	R4	R5																																																		
ぎふ・さわやか口腔健診	1	10	11																																																		
歯周疾患検診	2	5	2																																																		
妊婦歯科検診	4	0	5																																																		
08	1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、その他の県内臨床研修病院等と連携し、当院の特徴を生かした臨床研修プログラムにより、臨床研修医の資質向上を図る。 また、初期臨床研修期間終了後、引き続き当院での勤務が継続できるよう、定着化の推進を図る。 さらに、他の臨床研修病院からの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。		IV	III	中山間地であるにもかかわらず、臨床研修医を多く獲得し、地域医療を学ばせるスタイルは高く評価できる。 さらに研修医・専修医の確保を期待したい。																																																
10	1 地域医療水準の向上 二次救急医療体制の課題検討のため、従来は、下呂市及び中津川市消防本部と当院医師及びメディカルスタッフとの情報交換会を開催し、症例発表や講演会を通じた地域メディカルコントロールの連携強化を図っていたが、新型コロナウイルス	1 地域医療水準の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を務めるなどしている。 ・二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催、症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連 	III																																																		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																																				
	<p>感染症拡大に伴い、中津川市消防本部は不参加など規模を縮小していたため、今後は状況を見極めて従来の開催方式に戻すことを検討する。</p> <p>また、岐阜県メディカルコントロール協議会飛騨支部感染防止部会に参加し、共同して病院前救護における感染対策活動に取り組む。</p> <p>さらに、病診連携を推進し、開業医との情報交換を積極的に行うとともに、医療機器の共同利用や開放型病床の利用促進により地域医療の向上を図る。</p> <p>3 地域医療に携わる医師の養成</p> <p>岐阜大学医学部附属地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療に携わる医師の養成に取り組む。</p>	<p>携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。なお、令和3年度以降、コロナ禍対策のため、参加人数の抑制を行い、中津川市消防本部の隊員の参加は見合わせていたが、今年度からWebを利用することにより、下呂市の各消防署や中津川市消防本部の隊員のリモート参加ができるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県メディカルコントロール協議会飛騨支部の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。 ・ 定例会議：2回（5月12日、11月24日） ・ 感染防止マニュアル改訂 ・ 下呂消防署のラウンド調査：10月16日 ・ 全国救急隊員シンポジウム共同発表：2月1日 <p>○ 高度医療機器の地域開業医等の共同利用状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>129</td> <td>131</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td>35</td> <td>17</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>167</td> <td>148</td> <td>128</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 開放型病床の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、地域のかかりつけ医と当院の主治医と共同で治療を行うことにより、患者に対し安心した医療の提供が図られている。 <p>開放型病床利用実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（実人数）</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>407</td> <td>493</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 地域医療に携わる医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを 	項目/年度	R3	R4	R5	MR I	129	131	109	C T	35	17	19	心エコー	1	0	0	頸動脈エコー	2	0	0	計	167	148	128	項目/年度	R3	R4	R5	利用者数（実人数）	35	45	48	利用延べ人数	407	493	453			
項目/年度	R3	R4	R5																																						
MR I	129	131	109																																						
C T	35	17	19																																						
心エコー	1	0	0																																						
頸動脈エコー	2	0	0																																						
計	167	148	128																																						
項目/年度	R3	R4	R5																																						
利用者数（実人数）	35	45	48																																						
利用延べ人数	407	493	453																																						

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見																
		前提としつつ、前年度に引き続き下呂市のがん検診等を受託し、へき地医療拠点病院として地域医療を支援した。 ○ 下呂市がん検診等の受診者数: 【No. 5 再掲】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,957</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>542</td> <td>529</td> <td>573</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>45</td> <td>42</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R3	R4	R5	下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556	下呂市特定・すこやか健診	542	529	573	下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48			
項目/年度	R3	R4	R5																		
下呂市がん検診	1,957	1,924	1,556																		
下呂市特定・すこやか健診	542	529	573																		
下呂市肝炎ウイルス検査	45	42	48																		
15	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 指定地方公共機関として、新型インフルエンザ等対策特別措置法及び業務計画に定めるところにより、岐阜県、関係市町及び医療機関と相互に連携・協力し、新型インフルエンザ等対策の実施に努める。 また、新型コロナウイルス感染症の対応経験も踏まえ、業務計画の定期的な見直しなどにより、感染拡大時の診療継続と院内感染防止対策に取り組む。 外来診療の継続と入院患者受入れのため必要な物資及び資材の備蓄・整備・点検並びに施設及び設備の整備・点検を実施する。	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟については、保健所、関連医療機関と連携・情報共有しながら全室個室の強みを生かし、フェーズに応じて最大62床（5類感染症移行後は最大20床）まで患者を受け入れる体制を整備し、飛騨圏域及び近隣圏域でクラスター感染した多くの入院患者に対応した。 新型コロナウイルス感染症患者受入実績 【No. 1 再掲】 単位：人 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>226</td> <td>338</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>288</td> <td>626</td> <td>760</td> </tr> </tbody> </table> ※累計患者数は、受入開始（R2年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点 ・発熱外来は外来CブロックとAブロックの感染症診察室をベースに、駐車場整備とスタッフ配置によって、他の外来患者と時間的分離・空間的分離を図った。 ・新型インフルエンザ等感染症対応の業務継続計画をもとに、院内で対応してきた内容を踏まえた新型コロナウイルス感染症の業務継続計画案を作成した。 ・国や岐阜県から支給された个人防护具を有効に活用するため種類、数量を細かく在庫管理し、適正使用につなげるとともに、支給要望の照会に対応した。 ・新型コロナウイルス感染症関連補助金を活用してHEPAフィルター付空気清浄機を設置し、エアロゾル感染対策環境を整えた。 ・飛騨地域新型インフルエンザ等感染症対応訓練（11月27日）に参加した。	項目/年度	R3	R4	R5	受入患者数	226	338	134	累計患者数	288	626	760	IV						
項目/年度	R3	R4	R5																		
受入患者数	226	338	134																		
累計患者数	288	626	760																		

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点（●） 	自己 評価	評価 提案	意見								
22	<p>1 調達効率化及び適正な契約事務の実施 複数年契約などの多様な契約手法の導入により、契約事務の合理化を図る。</p> <p>また、より有利な契約交渉を実践していくために、地域に隣接する他病院との共同購入体制の可否等を検討・協議する。</p> <p>さらに、既に締結した保守契約については、委託期間、委託内容及びその方法を再度検証し、病院全体として支出を抑えていくよう精査を行う。</p>	<p>1 調達効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門長及び実施業者と内容及び必要性を精査しつつ、保守委託契約とスポット保守の比較検討を進めた。 ・引き続き、比較・分析を継続の上、複数年契約等も含めた有利な契約方針を決定していく必要がある。 ・電気需給契約について、燃料費単価は急激に上昇したが、国及び電力会社の負担軽減策等により、前年度より減少した。 <p style="text-align: center;">単位：千円（税込）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>71,400</td> <td>126,846</td> <td>99,564</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、前年度に引き続き、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換え等により経費削減に努めている。 ・次の維持管理業務については、3年間の複数年契約を締結しており、引き続き経費の削減に努めている。 警備業務、機械、監視室等保安全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務、給食業務、臨床検査業務 	項目／年度	R3	R4	R5	電気料金	71,400	126,846	99,564	III		
項目／年度	R3	R4	R5										
電気料金	71,400	126,846	99,564										
23	<p>2 人間ドック等の着実な受入れ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防対策に万全を期すことを前提としながら、人間ドックや下呂市健診・検診を始め健康診断の計画的かつ着実な実施に努める。</p>		III		コロナ後、多くの施設と同様に外来の収入は縮小している。一方、入院ドックが増加しており、高く評価できる。								
24	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <p>医薬品・診療材料及び消耗品については、物流管理システムによる在庫管理を徹底する。加えて、新規品目採用時には、原則として類似品目を廃止することで、費用の節減を図る。</p> <p>医薬品・診療材料の採用については、各部署・事務局が一体となって採用品目を協議検討し、効</p>	<p>1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮を進め、費用節減に努めたほか、より安価な物品の発掘など、類似物品の切り替えに努めた。 <p>○ 医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p>	III										

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	評価 提案	意見																			
	率が悪く費用対効果の少ない品目については、積極的に各委員会にて採用変更を諮り、費用の削減を図る。医薬品、診療材料の新たな契約価格の削減を図り、特に償還価格を超える材料についてメーカー交渉、採用材料の見直し等によりその解消に努める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>8.5</td> <td>8.3</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>6.9</td> <td>5.2</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>16.3</td> <td>14.4</td> <td>16.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3	R4	R5	薬品費	8.5	8.3	8.9	診療材料費	6.9	5.2	6.0	給食材料費	0.9	0.9	1.0	材料全体	16.3	14.4	16.0				
項目	R3	R4	R5																							
薬品費	8.5	8.3	8.9																							
診療材料費	6.9	5.2	6.0																							
給食材料費	0.9	0.9	1.0																							
材料全体	16.3	14.4	16.0																							
25	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を早期に達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率75%以下を達成する。	<p>【経常収支比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経常収支比率について、収支計画の設定比率83.0%に対して、決算では79.1%となり、計画を達成できなかった。 <p>【医業収支比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収支比率について、収支計画の設定比率 85.1%に対して、決算では81.1%となり、計画を達成できなかった。 <p>【職員給与費対医業収益比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率93.1%に対して、決算では109.4%となり、計画を達成できなかった。 <p>次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して経営努力を続けていく。</p>	II		10億円の赤字、人件費比率109.4%は気になる。																					
29	<p>1 内部統制の充実強化</p> <p>内部監査等によるモニタリングを通し、点検・検証を行い、継続的な見直しを行うことで、内部統制の充実強化を図る。</p> <p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化</p> <p>災害等危機管理事案発生時には、理事長がリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応できる</p>	<p>2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化</p> <p>新型コロナウイルス感染症対応においては、理事長をトップとする「新型コロナウイルス感染症対策会議」において、運用・対応方針を決定するとともに、関係部署に情報共有・対応を指示し、新型コロナウイルス感染症入院患者の受け入れ、対策等に積極的に関わった。</p>	III	IV	内部統制は十分できている。																					

項目 No.	R 5年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	評価 提案	意見
	<p>環境を整備するとともに、透明性の確保に努める。</p> <p>また、病院全体で対応できるよう、幹部会などを活用した速やかな情報共有体制を維持・継続する。</p>				